

## カワラハンミョウ

*Chaetodera laetescripta*

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

### 種の概要

体長14～17mm。上翅の斑紋は外縁にそって癒合するが、内紋はよく発達する型から消失する型まで変異が多い。体下面は紫銅色の光沢をもつ。上唇は前方へよく張り出し、中央に1歯をそなえる。頭楯両側には明瞭な剛毛がある。海岸や河原の砂丘に生息する。成虫は7月頃から出現し、9月頃まで見られる。小昆虫などを捕食する。



写真提供：森正人

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州

### 県内分布記録

西宮市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			○

### 特記事項

前回のRDB(2012年)改訂以降も記録や情報がまったくなく、生息に適した環境も残されていない。比較的まとまった規模の砂地環境を必要とするため、開発等の影響を受けやすい。

### 保護上の留意点

砂地環境の保全